新区割り 自民ほろ苦

比例代表で当選し、支援者から万歳で祝福される岩田和親さん（左から２人目）と今村雅弘さん（右から２人目）。いずれも厳しい表情を見せた
＝15日午前０時32分、佐賀市多布施の事務所

岩田氏復活 笑顔なく

知名度不足「申し訳ない」

佐賀1区

2期目の挑戦は、前回破った民主前職の圧倒的な知名度に跳ね返された。佐賀1区の自民前職・岩田和親さん(41)は小選挙区で敗れた自民前職の今村雅弘さん(67)と現れ、支持者の万歳にも唇をかみしめたまま。「小選挙区で敗れ申し訳ない。大きな反省として今後に生かしたい」。笑顔なく支持者に頭を下げた。

0増5減による県内小選挙区の減少に伴い、1区の範囲拡大に加え、比例に回った今村さんの比例順位が重くのしかかった。当初予定されていた単独1位ではなく、岩田さんを含めた重複立候補者の下の31位。小選挙区で落ちれば、今村さんの議席を奪いかねない。悩んだ末、公示数日後に一度は比例名簿から自分の名前を取り消すよう申し出てもいた。「この議席は一つ以上の意味がある」。選挙中、苦境を訴え続けた。

新たな区割りで旧2区の一部が加わり、顔と名前が知られていない知名度不足を痛感した。

岩田さんは「しっかり頑張れという議席をいただいた。全うしていくために精進したい」と語り、支持者一人一人と握手した。

（古賀史生）

今村氏「悔しさ」がバネに

比例

1票の格差是正による衆院の「0増5減」に伴う候補者調整で、初めて比例代表の単独候補で出馬、当選した自民前職の今村雅弘さん(67)。15日午前0時半、比例復活で当選した岩田和親氏と登壇し、「厳しい戦いだった。九州はオスプレイなどたくさんの課題を抱えている。全力を挙げて頑張る」と声を詰まらせた。

この数カ月、思わぬ事態が相次いだ。「県全体や、若い先生方の未来を考えて」小選挙区から比例代表に転出を決断したのが10月中旬。わずか1カ月後に突然、解散風が吹いた。

重い決断と引き換えに、党本部から比例上位枠の約束を取り付けたはずだった。ところが公示日前夜に飛び込んだ「31位」の知らせ。小選挙区の重複立候補者30人に次ぐ下位に貼り付けられた。知事選に絡み、党本部の意向に沿わず動いた影響とみる声も上がり、支持者にも動揺が広がった。

「大変、悔しい思いをしています」。封印したはずの本音を思わずこぼす場面もあった。その悔しさをバネに、新1、2区の候補者に帯同し支持を訴えた。2区の応援に登壇後、車に飛び乗り、1区の演説会場に向かった日もあった。

アベノミクスは順調と訴えたが、県内では実感が薄いという批判にも多く触れた。「時間がかかるが、きっと成果をお届けする」。7期目への思いを語り、表情を引き締めた。

（川崎久美子）

「勉強重ねる」

1区・古賀氏

佐賀1区の共産新人古賀誠さん(29)は、若者の労働環境改善や自衛隊オスプレイの佐賀空港配備計画反対を訴えたが、自民、民主前職を前に、存在感を示すことができなかった。

午後11時半すぎ、事務所に待機していた古賀さんは会見を開き、「多くの皆さんに支えてもらい、命と暮らしを守る政策を訴えてきたが、届かなかった」と硬い表情で語った。

選挙戦では同世代やお年寄りからの共感が日ごとに増え、手応えを感じていたが、2氏の壁は厚かった。

県内選挙区唯一の20代で、衆院選が初の選挙。「若いのによく頑張った」。支援者に声を掛けられ、「さらに政策の勉強を重ねたい」と今後の努力を誓った。

（古賀真理子）

陣営幹部からねぎらいの花束を渡され、落選で硬かった表情をようやく緩ませた古賀誠さん＝14日午後11時41分、佐賀市神野東の事務所

共産若手 風つかめず

選挙戦をねぎらう花束を贈られる御厨さとみさん（右）＝14日午後９時38分、佐賀市神野東の共産党県委員会事務所

「今後も主張」

2区・御厨氏

県内唯一の女性候補として初の国政選挙に挑んだ共産党新人の御厨さとみさん(33)は力及ばなかった。午後9時すぎに佐賀市の党県委員会事務所でスタッフからねぎらいを受け、「お世話になりました」と頭を下げた。

安倍政権がうたう「女性が輝く社会」と現実社会との大きなギャップを感じた。「女性や若者の労働環境を良くしたい」。不安定な契約社員やアルバイトとして働いた自らの経験を飾らず、分かりやすく伝え、同世代や女性から多くの共感の声が寄せられた。

当初は出馬に反対だった両親も陰ながら応援。周囲の支えで選挙戦を乗り切った。

「自分の訴えが何も間違っていないと自信を持って言える。これからも主張し続けたい」と前を向いた。

（古川浩司）

開票ドキュメント

「安倍政治」の評価が問われた衆院選。佐賀空港へのオスプレイ配備や玄海原発の再稼働を含めて論戦を展開した佐賀小選挙区の３党６陣営と比例九州ブロックの陣営は14日夜、かたずをのんで開票を見守った。

◇　◇

14日20・00　２区の自民・古川康氏の唐津市の報告会会場。ＮＨＫが古川氏の「当確」を速報。約200人の支持者がどよめく。前職の保利耕輔氏が「こんなに早く出るなんて驚いた」と笑顔を見せ、万歳三唱の音頭をとる。

20・01　古川氏当確から間髪入れず２区の民主・大串博志氏の比例区当確も出る。事務所では支持者から大きな拍手。原口事務所でも「よっしゃ」という声とともに拍手が起こる。

20・10　大串氏が事務所で支持者の前に姿を見せる。表情は厳しいまま。「ありがとうございました」と深く頭を下げる。

20・21　１区の自民・岩田和親氏の事務所。ＮＨＫの出口調査で接戦のグラフが示されると「わぁっ」と支持者から声が。その後静まりかえった。

20・23　古川氏の報告会で、福岡資麿自民党県連会長が「今も岩田さんや、比例の今村さんが激しい戦いを続けている。３勝しなければ意味がない。勝利を祈りましょう」とあいさつ。

20・50　鹿島市の開票所で票を仕分けする分類機にトラブル。人海戦術で乗り切り、開票作業の大きな遅れは免れる。

21・06　共産党事務所に２区の御厨さとみ氏が到着。スタッフに「お世話になりました」と頭を下げる。

21・08　民放の出口調査で原口氏がリード。原口事務所では「10ポイント差だ」と興奮気味。

21・30　共産党事務所で御厨氏が記者会見。「準備期間が足りなかった」

21・33　比例区の今村雅弘氏の事務所。大分県の小選挙区の出口調査で自民候補の劣勢が伝えられ、支持者が「うーん、厳しい」

21・36　原口事務所に病院の原口氏から電話が入る。「本人も結果に気をもんでいる」と陣営関係者。

22・17　ＮＨＫの１区開票速報で岩田氏がリード。岩田事務所では「よっしゃ、でも僅差やね」と支持者。一方、原口事務所では落胆の声が上がるも「まだ佐賀市の票が開いてない」

22・30　２区古川氏が鹿島事務所で約100人の支持者に「旧２区のみなさまのおかげで当選できた。今村先生の１秒も早い当確を祈りたい」

23・08　開票速報で原口氏が3000票リード。原口事務所が一斉に沸く。勝利を確信し、原口氏に病院を出る準備をするよう連絡。

23・18　ＮＨＫが原口氏の当確を伝える。原口事務所では支援者が「奇跡、奇跡」。陣営幹部はがっちりと握手。岩田事務所では原口義己総括責任者が「負けました。今村先生がどうなるか分からない」と悲痛な表情で支持者に頭を下げる。

23・33　共産党事務所で１区の古賀誠氏が会見。「及ばなかったが、投票してくれた人の思いを今後の活動に生かしたい」

23・35　支援者であふれかえる今村事務所。長崎小選挙区の情勢をかたずを飲んで見守る。

23・43　松葉杖姿の原口氏が長男の大さんと一緒に事務所入り。「おめでとう」という歓声と拍手が一斉に巻き起こる。岩田事務所では、原口事務所の様子を伝えるテレビを静かに見入る。帰り支度を始める人も。

15日０・32　岩田氏の事務所。比例で復活した岩田氏と今村氏が現れ、支持者は当確を祝って万歳。岩田氏と今村氏は花束を持ち、手を挙げず、深々と頭を下げた。

県内小選挙区市町別得票

選管最終

	市町名	得票数 岩田	原口	古賀	有効投票数
1区	佐賀市	46,990	50,713	5,627	103,330
	鳥栖市	12,689	13,953	2,507	29,149
	神埼市	7,727	7,024	1,009	15,760
	吉野ヶ里町	3,819	3,089	394	7,302
	基山町	4,256	3,665	877	8,798
	上峰町	2,258	1,905	188	4,351
	みやき町	5,682	5,554	881	12,117
	1区計	83,421	85,903	11,483	180,807
	得票率	46.14%	47.51%	6.35%	

	市町名	得票数 御厨	大串	古川	有効投票数
2区	唐津市	3,420	16,579	38,789	58,788
	多久市	442	4,443	5,149	10,034
	伊万里市	1,184	8,708	15,669	25,561
	武雄市	929	8,641	13,965	23,535
	鹿島市	434	7,927	5,800	14,161
	小城市	790	11,081	8,307	20,178
	嬉野市	377	6,195	6,810	13,382
	玄海町	117	482	2,382	2,981
	有田町	478	3,569	6,187	10,234
	大町町	147	1,896	1,559	3,602
	江北町	140	2,777	1,954	4,871
	白石町	241	7,893	4,962	13,096
	太良町	113	2,192	2,541	4,846
	2区計	8,812	82,383	114,074	205,269
	得票率	4.29%	40.13%	55.57%	

県内比例代表市町別得票

選管最終

市町名	得票数 共産	次世代	幸福	生活	公明	維新	自民	社民	民主
佐賀市	5,807	1,803	609	1,164	12,891	10,265	36,830	3,592	30,032
唐津市	3,841	778	391	720	9,804	5,866	23,018	1,260	12,482
鳥栖市	2,303	518	196	357	4,142	3,747	9,605	1,343	6,984
多久市	469	79	108	94	1,599	822	3,544	497	2,785
伊万里市	1,150	351	176	278	3,413	2,575	10,222	669	6,215
武雄市	1,024	276	161	265	2,811	2,079	9,496	648	6,248
鹿島市	496	167	141	135	1,468	1,021	5,247	300	5,005
小城市	881	218	102	213	2,451	1,645	7,264	643	6,705
嬉野市	429	125	126	133	1,618	977	5,503	300	4,074
神埼市	972	222	95	190	1,938	1,280	6,265	380	4,385
市計	17,372	4,537	2,105	3,549	42,135	30,277	116,994	9,632	84,915
吉野ヶ里町	332	114	47	76	819	723	3,248	165	1,773
基山町	801	153	35	105	1,139	1,037	3,205	354	1,980
上峰町	154	56	30	55	749	397	1,705	99	1,073
みやき町	810	136	86	161	1,962	1,122	4,185	338	3,231
玄海町	119	22	13	30	472	148	1,570	23	472
有田町	527	167	110	168	1,275	1,159	3,956	247	2,446
大町町	174	38	16	36	568	267	1,176	148	1,121
江北町	186	48	31	42	429	386	1,819	133	1,689
白石町	361	147	65	98	1,147	704	5,149	217	4,924
太良町	103	35	80	42	771	258	2,042	76	1,438
町計	3,567	916	513	813	9,331	6,201	28,055	1,800	20,147
県計	20,939	5,453	2,618	4,362	51,466	36,478	145,049	11,432	105,062
得票率	5.47%	1.42%	0.68%	1.14%	13.44%	9.53%	37.89%	2.99%	27.44%

「おくやみ」は18面に掲載

紙面編集・武田和也